

アメリカの高等学校の教育内容

文部省派遣海外教育事情視察報告 第 二 報

小 倉 幸 春

ここでアメリカの高等学校とは、ミネソタ州ドルース Duluth 市のイースト高校とセントラル高校とし、両校の 1972 / 73 年度の授業における全教科の全科目の教育内容を紹介したい。

しかして、教育内容の記述の前提となる両校の教育課程の制度、運営については、すでに「米国カナダの小学区制総合高校 文部省派遣海外教育事情視察報告」（「高校教育研究」24号、金沢大学教育学部附属高等学校、昭48）において述べた。その要点は、6・3・3・4制の後期中等教育を行なう高等学校 senior high school において、小学区制、総合高校制、大幅な科目選択制、単位制、大教科制（1か年または半年完結）がとられ、単位がクレジット credit とよばれ、1クレジットとは毎日1時間の授業を1か年継続して修得したことを意味し（週5日制であるから、日本流に言えば5単位に相当する。）、また1か年2学期制で、1か学期毎日の授業で完結する1/2クレジットの科目もある。

後に掲げる各教科各科目の教育内容は、学校から全生徒に配布された登録説明書である Duluth East High School Registration 1972-73、および The Subject Matters at Central 1972-73 によったものである。

科目の教育内容の記載における凡例は

「 」の中が科目 Course の題名 Course title

□が1クレジット科目

◇が1クレジットで、他科目と同時抱き合わせ履修の科目

○が1/2クレジットで、第1、第2両学期とも開設される科目

◎が1/2クレジットで、第1学期にのみ開設される科目

◎が1/2クレジットで、第2学期にのみ開設される科目

「 」の次の10、11、12の数字は、その科目を履修できる学年

「 」の中の数字は、その科目の程度、段階の標準学年

なお、アメリカ流の学年 grades のよび方を日本流にすると、10学年が高校1年、11学年が2年、12学年が3年となる。

ドルース・イースト高等学校

高等学校卒業の必要条件 イースト高校の卒業に要求される各教科・科目と、卒業最終資格に必要なクレジット数は、次の通りである。

1. 9学年（中学校3年）の完全な履修。
2. コミュニケーション科 Communications（国語科 English Course を含む）の科目を、10、11、12学年で3クレジットの修得。
3. 社会科 Social Studies の科目を、11、12学年で（11学年社会科はアメリカ史）2クレジットの修得。
4. 保健 Health を10学年で1/2クレジット修得。

5. 体育 Physical Education を10 学年で修得。ただし単位が与えられない。

6. 選択科目 additional electives を合計7 クレジットの修得。

以上のようにして、10 — 12 学年に合計 $12\frac{1}{2}$ クレジットを修得しなければならない。

これに関する注意事項は次のようである。

9 学年の完全履修は、在籍した中学校によって決定される。その9 学年において「数学10」、
「生物」、また外国語の第2 年目を修得し終えた生徒は、大学進学必要条件を充たすため、それ
らのクレジットを使うことができる。そして、9 学年の課程を完全に履修できなかった生徒は、
在学する中学校とともに、不足を補充する方法を計画しなければならない。これらの生徒は、イ
ースト高校に入学するに先だち、サマー・スクールへの出席をきわめて真面目にしなければならない。

各生徒は、最小授業標準数を下廻らないよう登録しなければならない。すなわち、1 年生が
 $4\frac{1}{2}$ クレジット、2、3 年生が4 クレジットである。

なお、選択科目は、1 クラスを編成するにじゅうぶんだけの、その学科を選択する生徒がい
る場合にのみ、開設される。個々の科目を選択する生徒の数が、実際その科目を開設するかどうか、さらに、その科目を何セッション開設するか、を決めるのである。したがって、以下に記述
される科目はあとで変更されるかも知れない。

高校卒業後の教育のための必要条件 卒業後の志望のための見透すべき事項は次のようである。

大学 大学入学必要条件は、国内の3,300 近い認可大学により相違がある。ある大学は認可高
校の卒業だけでよい。ある大学は、数学、理科および外国語の、詳細に規定されるクレジット数
を必須とし、または強く勧告する。このため、志望する大学の入学必要条件をよく知ることが大
切である。(インフォメーションがガイダンス室で得られる。)

一般に、教養科目の大学は、効果的に伝達し、考えを表現し、ひとの考えに加われるようにす
る科目を履修すること、を勧める。これは、広く多方面にわたる読書経歴、作文技術、そして外
国語・数学・理科の領域における確かな実力、を意味する。工学、建築、および科学系統の課程
において、「代数」、「平面・立体幾何」、「高等代数」、「三角関数」が普通要求される経歴
である。この分野において「物理」、「化学」、「製図」が撰択科目に勧められる。看護、家政、
体育、林学、薬学、歯学、医学の分野に志望する者は、「生物」と「生理」を履修すべきである。
軍関係の学校に志望する男子生徒は、数学と理科に重点をもつ大学進学準備課程を取得したらよ
い。

ミネソタ大学教養学部は卒業のために外国語を必要条件にする。多くの他の大学は類似の必要
条件がある。高校で取得された外国語の経歴が、たいていの大学で順番づけ用に評価される。通
常、入学の順番づけの考慮を与えられるように、生徒は最低2 年間の外国語を取得しなければならない。
2 つの外国語の各2 年間よりもむしろ、同一外国語の3 乃至4 年間の勧められる。

一般に、将来大学が可能であると感じている生徒は、高校で大学進学準備課程 college pre-
paratory courses をとらねばならない。しかし、大学入学には、規定の科目のすべてを履修
するより、5段階評価におけるC以上の良い成績が重要なのである。といって、良い評点を保つ
ためにすべて易しい科目を取得するのはよくない。大学側は、志望者が高校で履修した科目の難
易度を考慮するからである。

職業・技術学校 生徒は、地区職業・技術学校により提供される、訓練および教育的可能性に
だんだん気付いている。職業・技術学校が提供するコースと同じ位に、入学必要条件はさまざま
である。これらの学校がだんだんこみ合ってくるので、志望者は、高校で要求され、あるいは勧
められる科目を履修することが、何より重要になってきた。一般に、必要条件は常識である。秘

書コースにはタイプと速記の技術が勧められる。「マーケティングと商取引」と「簿記」が商業科の諸コースに役立つ。高等数学の能力は設計、電子工学、高速道路技術の分野に要求される。特別な質問があれば、ガイダンス室に照会しなさい。

コミュニケーション Communications

コミュニケーション科における必要条件

1. 各生徒は、高校の間にコミュニケーションでクレジットを修得することが要求される。これは全年科目または1か学期科目のどちらを取って修得されてもよい。
2. 全生徒は、少くとも、1/2 クレジットの「10 学年国語」の1か学期科目と、「アメリカ文学」の1か学期科目を修得しなければならない。後者の必要条件は「アメリカ文学」か「アメリカ文学遺産」から取って充たしてよい。
3. 「アメリカ文学」必要条件は11 学年末までに完成されるべきである。
4. 生徒は、卒業に必要とされる最少限るクレジットを充たすために、コミュニケーションのどの他領域から選択科目を選んでよい。

◎「国語 10」（選択必修科目）

イースト高の必修1年生国語科目は、人生経験の全領域において役立つ文章コミュニケーションの基礎を与えるために、語法・メカニクス・スペルを内容とする文章型の復習を試みる。また、この科目は、文章の構造、慣用句、および簡単な解説論文（情報を知らせよう企画されるもの）における改良を目的にするために、イースト高図書館の案内、若干の“小研究”、主として作文に刺激を与えるため選択された、簡単なフィクションとノンフィクション読書、を内容にする。

◎「国語 10 +」（選択必修科目）

「国語 10」で教えらるる基礎技術をすでに修得しているとみられる生徒は、この科目に登録するように勧められる。生徒は年度初めに診断テストで能力を証明することを要求されよう。もし能力を立証できなければ「国語 10」へ移されよう。この科目の内容は、取り組むための徹底的な作文プログラムを伴った、広い各種の文学である。この科目の目的は、生徒の文学経験を豊富にし、作文その他の言葉の技術をもっと洗練させることである。

◇「国語 10（コア）」

これは、3か年にわたり、国語と歴史との必要条件をすべて充たす、計画されたシーケンス sequence である。それは、10 学年で世界史と19 世紀までの文学の2 時間、11 学年でアメリカの歴史と文学の2 時間、12 学年で19 および20 世紀の歴史の2 時間を含む。

このシーケンスのための統一テーマはアメリカ文化に特別の重点を置いた、西洋文明の発達である。その方法は、幅広い読書と作文を内容とする個別学習 individual study を伴う、大部分が講義 lecture である。それは、古代エジプトとメソポタミアから20 世紀中頃までの西洋人の鳥瞰的・連続的考察をつくり出すことを目的とする、人文科学科目として述べられる。

登録は基本的には制限されるが、強度に学問的で進学準備的であるプログラムにおいて、勉強していく上での能力を示してきたと見られ、また興味をもつ者すべてに、考慮が与えられるであろう。この生徒はまた「強化社会科 10」にも登録することを忘れてはならない。生徒は時間割上2 時間1 ブロックを言明しなければならない。そうすれば合計2 クレジットを取得するであろう。

注意 1 年生は次の表から第2 学期に役立つ科目を選択できよう。

「アメリカ文学」 「アメリカ少数民族文学」 「現代アメリカ小説」 「気がすすまない読者のための読書」（第1 学期国語教師の勧告） 「マス・メディア」 「作文の活かし方；実験的」 「作文の活かし方；説明的・議論的」 「ジャーナリズム」（人数制限） 「意味論」

「商業英語」 「人間と価値探求」(教師の勧告必要) 「人間と信仰探求」(同)
11・12 学年生に役立つ科目(いくつかの科目が 11 学年向けに限られ、他のものが 12 学年向けに限られるので、よく点検して確かめなさい。)

☐☐☐「3 年生学習」 (3 クレジット)

この科目は、3 年生に提供され、国語・社会科・人文科学の学習に、交差して訓練するアプローチ法を特徴とする。

人間の世界は類似して成長するので、世界の人々の文化・習慣・哲学を理解する必要があります。そのような理解への鍵を発見することは、相手に、傾聴し、そしてうまく伝達する、人間の意志次第である。この科目は、生徒と教師に、お互いに傾聴し、かつ伝達する機会を与えるように、とくに設計される。そこでは生徒と教師と一緒に、人間・人間の理想・人間の問題を調べるが、それらは、美術・音楽・文学・歴史・政治・経済・哲学の媒体を通して、全時代に表われている。

勉強する 3 つの学科はこのアプローチ中に表われる。すなわち英語、社会科学、人文科学である。これらの学科を代表する 4 人の教諭が、生徒へ出される個々の学習題目 topic に、注意の焦点を合わせるであろう。例えば学習題目が“人間と機械の関係”ならば、4 人の教師がみな、この主題を強調する教材を精選するであろう。社会科学教諭は、産業革命がいかに歴史、政治、経済に影響したか、の関係を明かにするに違いない。国語教師はそのとき、小説・詩・随筆・戯曲のような各種の文学様式において、これらの思想に関心があった作家たちに集中するであろう。同様に人文科学教諭は、人間が、美術・音楽・哲学において、機械と工業にたいする感じをどう展開したか、を説明するであろう。4 人の教諭は、個々の概念を教えるため 1 チームとしてお互いにかねらの知識と勤務を“プールする”であろう。これが交差して訓練するアプローチ法の意味するものである。科目発表への共同参加や、幅広い読書と作文が、生徒に要求される。この科目は、時間割上 3 時間 1 ブロックの枠内で、柔軟に予定表を組むことができ、そのため、より大きなグループ発表 group presentation、小グループ・ディスカッション、個人的質問ができる。このフレキシブル・スケジュール法 flexible schedule は、生徒にも教師にも、時間を最も効果的に使わせる機会を与える。

☐「上級国語 12」

「上級国語 12」は、大学進学準備課程で国語に高い成績を誇ってきた生徒に、助力するために設けられる。生徒は、標準テスト、見本作文、面接、教師の勧告、および過去の成績、の基準によってこの科目に向くか、選抜される。テストと教材の費用にこの科目の生徒 1 人あたり 22 ドルが請求される。この科目は 20 人に制限される。この科目を修得した生徒は、もしうまく合格すれば、優秀高校成績のため大学単位の授与をもたらす、上級試験を受ける機会をもつ。

☐「強化国語 12」

「上級国語」に類似。この科目をとる生徒は上級試験をうける選択が許される。この科目は生徒に読書、とくに文学的価値が認められる作品、の幅広い残像を面白がらせるように企画される。

☐「演劇；上演」 11、12

これは第 1 に劇場における上演のクラスである。1 つの主要任務は、大演劇の上演や一幕劇の夕べの、役者や裏方として働くことである。このグループのステージを離れた学習活動は、教室演技や、演劇用語・歴史から組成される。このクラスのどの生徒も、イースト高で上演される全演劇のどこかの局面で働くであろう。これは、コミュニケーション科の 1 クレジットを伴う全年科目であり、また、選択科目として使える。

☐「ジャーナリズム」 10、11、12

この科目は新聞の編集、学校新聞のレイアウトとメイクアップと製作に関心をもつ生徒向きである。クラスのメンバーは学校新聞のスタッフの大部分を組成する。生徒は地域社会や面白い他地域の物語りを深く書く機会をもつであろう。ジャーナリズムの分野における各自の興味が開発されるであろう。

◇「国語 11（強化コア）」

社会科のカリキュラムを見なさい。「アメリカ文学」と作文の国語科必要条件を充たす。

○「アメリカ文学」 10、11、12（選択必修科目）

この科目は、興味を感じる多くの分野をもつ可能性がある平均的読者を、動機づけて関心をもたすように設計されている。各種のテキストからの教材が使われ、現代の雑誌や映画が加わる。迷信、偏見、科学フィクション、ユーモア、機械と人間、奇蹟、名誉、のような面白い項目に分けられる。各項目は演劇、詩、短篇物語、随筆、レコード、映画や多分小説を含むであろう。

○「アメリカ文学の遺産」 11、12（選択必修科目）

この概観科目は、植民地時代初期から南北戦争時代までのアメリカ文学の、年代順の幅広い学習を与える。あらゆる種類の文学様式、すなわち歴史上のユニークな出来事に加えた、詩、戯曲、短篇物語、随筆が調べられる。読むために注目される作家は Franklin, Cooper, Irving, Poe, Whittier, Emerson, Thoreau, Hawthorne, Melville である。

○「アメリカ少数民族文学」 10、11、12

わが国を偉大にすることを助けてきた、アメリカ、ヨーロッパ、そしてアフリカからの多種類の少数民族や人種集団の短篇物語、詩、戯曲、小説、ノンフィクションがこの科目で学習されよう。クラス討議 discussion、グループおよび個別学習が含まれる。

○「現代アメリカ小説」 10、11、12

短篇物語形式の学習および代表的アメリカ短篇小説の広い読書が、平均的生徒に、アメリカ宗教学の良い素養を獲得し、各人の遂行する機会を与える。文学様式として小説がまた学習される。Poe, Bradbury, Twain, Wolfe, Lewis, Hemingway, Faulkner, Steinbeck, Wilder, Capote のような作家が多分選ばれるであろう。Huckleberry Finn, The Scarlet Letter, To Kill A Mockingbird, Catcher in the Rye, The Pearl のような題の小説が選ばれるであろう。

○「不熱心者のための読書」 10、11、12

これは、もっと読書をするのが好きであるが遅い読者である生徒のために企画された科目である。教材は書籍、雑誌、新聞を含む。そして作品は高い興味価値から選択される。学習活動は普通の考え、書かれた注釈書、また生徒により鋭い認識を発達させるため文学作品の批評的分析についてのグループまたはクラス討議を含む。重点は生徒の興味と能力に基づく個別的計画作成におかれる。生徒は、この科目に登録する前に、国語教師の推挙を得なければならない。

○「アメリカのユーモア作家」 10、11、12

広い列のアメリカのユーモア作家の作品を読むことは、本当に楽しく心豊かにする文学の経験を与えるに違いない。各種様式の風刺文や著名作家のスタイルを学習するため、多くの読み物選集がおそらくクラスにおいて共同で読まれるであろう。しかし多くの時間が各人の必要と興味にあう選択作品を読むことに費やされる。読書は軽いユーモア随筆、物語、詩から政治・社会風刺までならぶ。作家は Twain, Benchly, O' Henry, Shulman, Buchwald, Simon, Vonnegut を含むかも知れない。

○「鍵のある本」 12

“習慣を甦る”ことができない生徒向けに設計されたもの。この科目は、長い間人の心を引き

つけて評判になっている、外国の文学題材のすべてを経験するための、動機づけと時間を与える。君はHermann Hesse, Andrei Voznesensky, Bernard Malamud, Jean Anouilh, Albert Camus, Henrik Ibsen, Anton Chekov, Turgenev, Fyodor Dostoyevsky, Maliere, George Bernard Shawを試みたことがあるか。君はこの読書習慣のために1/2 クレジットをとろうではないか。重点は討議におかれる。

○「陽気な古いイングランドの旅」 11、12

どの大学志望の生徒にもぜひ必要なもの。Chaucerの地を通して歴史と旅行の感じをよびおこしなさい。MiltonのThe Heaven and Hellへの途中で君のShakespeareにみがきをかけなさい。その他有名なイギリスの作家の道を横切りなさい。

○「ユートピアと非ユートピア文学」 11, 12

1984、Brave New World Revisited, Utopia, Looking Backward, Anthem, Candideのような本や、S.D.S., Weathermen等のようなグループの現在までのパンフレットが、1つの理想郷社会を明瞭に述べる、人間の企画を学習するために使用されるであろう。生徒は当然、小説と抽象的概念の討議に若干の満足をもつ、平均的読者であろう。個別的読書と自主的研究が要求されよう。

○「文の書き方；実験的」 10

この科目は、作文を楽しむ、自分の能力を発達させる訓練を好む人のため設計される。生徒の関心がある範囲は、広告、ラジオ、テレビ、演劇、短篇物語、詩、報告風の風刺随筆、宣伝、説得等であるに違いない。2、3の作家の目立ったテクニックとスタイルをいくつか学習することが企てられるであろう。また、テープ、スライド（生徒が興味のあるいくつかの分野）を伴う写真説明に若干の経験がある。この科目は知らせ、改良し、楽しみ、探求することを欲する人のためである。多くの作文プロジェクトは採点されないであろう。生徒の勉強は努力、進歩および改良の面で評価されるであろう。

○「文の書き方；説明的・議論的」 10、11、12

作家であることを欲しないが、実際の作文を改良する必要がある生徒向け。目的は、考えを説明し、または、所信のため議論する、きれいで首尾一貫した文体を開発すること。解説文（考え、意見、説明の展開）および議論文（考えを伝達するだけでなく、考えを受諾乃至服従することを読者に納得させる）に焦点。今日の世界に関連する時事問題の随筆を読み、書き、分析すること。必要があれば、文法と構造の特別な詳細な個別の復習。

○「マス・メディア」 10、11、12

コミュニケーションのマス・メディア——テレビ、映画、新聞、書物、掲示板、雑誌、コミック本は、われわれが現代世界を眺める方法に大いに影響をおよぼす。媒体の機能と効果は、読書、討議、プロジェクト、研究、および野外旅行field tripsを通して得られる情報の実際の応用を通じ、開発されるであろう。この科目は「気のすまない読者のための読書」を修得した生徒に勧められる。

○「人間が人間を暗殺する／自習」 11、12

学期の半分は、人間が人間を暗殺する、というテーマへのアプローチに費やされる。例えば、John F. Kennedy, Martin Luther KingやMalcom Xがガンマンの手で死に遭遇した。Death of a President, The Day JFK Died, その他選ばれた作品が論議されよう。他の半分は自習期間となるであろう。そのとき生徒は、自分が選んだ1教科についての研究論文を勉強して書く。図書館研究、グループ討議、そして選択小説の読書がこの科目を組成しよう。

○「補習文法；基礎的」 11、12

もし君が品詞（名詞、代名詞、動詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞、間投詞）または文章の基本要素（主語、動詞、目的語、補語）に紛れがあれば、この科目を選びなさい。時間があるので、君はまた分詞・不定詞・および動名詞句、そして副詞・形容詞・および名詞節がある文章を見わけることと使うことを勉強するであろう。また君は行を改めずに続けることや断片を排除するように習うので、君の書く文章が改良されよう。この科目はクラスの大きさが許す限り個別化されるであろう。

○「補習文法；上級的」 11、12

この科目は、品詞、文章の要素、あらゆる様式の句、そして名詞・形容詞および副詞節を復習するのを援助する。しかしその復習は前半期間以上引き受けない筈である。この科目の後半期間は、時間とクラス遂行が許すので、いくつかの基礎的パラグラフ形式および随筆構造の導入がある、はっきりとなめらかな文章（比較、同位と従属、省略、文章種類のようなものの勉強）を書くことに重点が置かれるであろう。

◎「職業的商業英語」 10、11、12

現代コミュニケーションの実際の科目。自己表現の強調。新聞、雑誌の閲覧。手紙を書く様式、仕事評価、職業報告、職業面接、職業志願を含む商業英語。口頭および文章コミュニケーション（摘要を書くこと、役割りを演ずること—他人の役割りに代わること、彼に学ぶこと、彼が応ずるだけしか応じないこと）。マス・メディアの批評的評価。必要条件；コミュニケーションに自信を発達させることに関心。

◎「人文科学Ⅰ」 11、12

この科目はテーマのアプローチをめぐって設計される。基礎テーマは、人間と社会の相互作用（社会的役割りの受諾—論争点）、不平等における人間と社会（個人主義、無責任、反抗、解答）人間と宇宙、人間と知識、人間と神性である。生徒が自分を考察して自分と社会との関係を定義しようと企てる前に、文学と映画を通して、生徒が先ずこれらの概念を説明できるように、学期が組織される。生徒の成績評価は参加、貢献、関心、熱中、および開放的気質に置かれる。

○「人間と信仰探究」 10、11、12

この科目の目的は3層である。第1に、世界中の多様な宗教への尊敬と理解を助長させることが企てられる。第2に、Sigmund FreudとCarl Jungの2つの正反対の心理学的観点から、われわれは宗教を取り上げるであろう。第3に、われわれは人間と、神・自己・自然・そして社会にたいする信仰を説明する、精選文芸作品を使うであろう。必要条件；関心。

○「人間と価値探究」 10、11、12

これは、動かすことができる価値体系の探求における、人間の学習である。われわれは人間の正、悪の考えおよび正義の考えを調べるであろう。われわれは古代と現代の倫理概念を注視するであろう。これらの哲学を例証する、選ばれた文芸作品が与えられよう。これは読書と討議の科目である。必要条件、関心。

○「映画」 11、12

映画が特殊な芸術形式として学習される。この深い学習は、映画用語、映画の発達、映画の様式、および映画の批評を内容にする。究極の学習活動は8ミリ映画の製作である。

◎「人前での話し方」 10、11、12

このクラスは人前での話し方入門である。話すことが好きなどの生徒にも、また話すことが恐ろしい者にも、聴衆の面前で話すことを勉強する好機が許される。クラス構成員はいろいろな話し方場面における多くの機会が与えられる。話し方の心理は学期の初めに簡単に内容にされる。

討議、演説、紹介、そして説得が、このクラスで取り上げる、話す機会の若干の様式である。

○「書くことと話すことについて君が知る必要のある最少限」 10、11、12

この科目は、書くことと話すことの基礎技術を改良する必要がある生徒のために提供される。ものを書くとき、喜ばれる形式を使ってははっきり面白くものをいうことに、生徒は援助をうけるよう期待できる。かれは私信、商業手紙、指図、日記、職業志願、および声明文を書く機会を得る。話すとき、ある普通の話す立場でだんだん自信を得ることを、生徒は期待できる。かれは、公表し、PAシステムを使い、言いそこないまたは個人的訓練をねがい、物語を話し、朗読し、話し手を紹介する、というようなことをするであろう。

社 会 科 Social Studies

イースト高校の3か年間に生徒は社会科の領域から2クレジットを取得しなければならない。これらクレジットの1つは「アメリカ史」で、他は「12学年社会科」でなければならない。

「アメリカ史」は明確にきめられている。「12学年社会」のクレジットは一般に「経済」か「合衆国政府」でなければならない。7選択クレジットを卒業まで10－12学年間に取得しなければならないから、よく考えて、この必要条件を充たすため、社会科選択科目をとってよい。

◇「社会科10（コア）」（「国語10（コア）」と同時に取得）

「国語10（コア）」を見よ。

□「強化社会科12」

「強化社会科」は3か年1連続として計画される。そのテーマはアメリカ文化に重点をおいた西洋文明の発達である。その方法は、広い読書と作文を含み、その最終目標は、古代エジプトやメソポタミアから20世紀中頃までの発達の鳥瞰的・連続的概観である。

◇「強化社会科11」（「国語11（強化コア）」と同時に取得）

11学年社会科のため述べられるすべての教材がこの科目に使用される。時間割上2時間1ブロックのコアcoreとして教えられる2つの科目であるから、「強化社会科」は「国語11」コアカリキュラムと同時に取得されねばならない。

「アメリカ史Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」これらは2年生に1か学期科目として提供され、ⅠとⅡ、またはⅡとⅢのどちらを取ってもよい。選択必修科目である。

○「アメリカ史Ⅰ」（1492－1865）11

探險の時代に始まり、各国による植民地の発達を通じたアメリカの学習。アメリカ独立革命の原因、新国家の成長、南北戦争へ導いた国内問題および南北戦争が、この科目の一部である。アメリカ政府の基礎となる原理の学習も含まれる。しかし合衆国憲法の詳細な学習を含まない。

○「アメリカ史Ⅱ」（1865－1918）11

南北戦争後の南部諸州の合衆国への再統合に始まり、第1次世界大戦の終結に終る、アメリカの発達の継続的学習。アメリカの拡大、工業の成長、国家威信の増加、産業成長に関連する問題貿易の拡大、第1次大戦へのアメリカ参戦について誘導された外国とのかわりあい、この科目の一部である。

○「アメリカ史Ⅲ」（1918－現在）11

この科目は、最大の凱旋の時代を通して、また最大の問題の時代を通してのアメリカを追求する。それは“冷戦”に導いてしまった他国への増加する巻きこまれ、多くの国内問題が考えられるであろう軍事闘争、そして原子力や宇宙飛行のようなものをもたらした偉業を、内容範囲にする。

○「合衆国政府」12（必修科目）

“デモクラシー”という語の理解、アメリカ政府が確立された道程の学習。アメリカ政府の立法、行政、司法分立の学習。アメリカの政治制度、内閣、最高裁判所裁定のさらに進んだ学習。現代の経済的、社会的、政治的、政治的な圧迫およびアメリカ社会におけるそれぞれの効果。そして合衆国憲法の徹底的学習。

○「ミクロ経済学」 12 （選択必修科目）

社会科は人と人の関係を理解しようとする。「ミクロ経済学」は人の経済関係に力を置く。供給、需要、費用、価格、独占、競争、その他のような基礎概念が分析されて、人間による経済的商品の生産、交換、配分、消費を学習するのに使用されよう。経済法則の理解は、どの人間にも総明で責任ある個人的・社会的決定をすることを助けるに違いない。

○「マクロ経済学」 12 （選択必修科目）

この科目は、現在の経済的環境についての生徒の理解を広げ、そして失業、インフレーション、政府支出と税制、国民福祉優先権（生態、教育、貧困等）、国際貿易、オートメーション、老人たち、その他のような重要かつ議論多き経済的係争点を研究することにあてられる。

○「法学Ⅰ」 11、12

合衆国憲法は、独立の権利（演説、集会、プライバシー、宗教等）と、陪審裁判、然るべき訴訟手続き、人身保護、捜査と差押えのような手続き上の権利を保証する。この分野において、民主主義社会の基礎概念が何度も何度も争われる。すなわち大多数の意志対個人の権利である。法廷場面がこの衝突の現在像をよりよく理解するために学習されるであろう。

○「法学Ⅱ」 11、12 （必要条件、「法学Ⅰ」）

ここで選ばれる今日の問題は、憲法の発達の前後関係または州と地方の裁判活動が考えられるであろう。投票権、少数民族（黒人、インディアン等）の権利、婦人の権利、学生の権利、多くのその他の問題が現代においてさしせまっている。合衆国憲法修正第14条により規定される“法律の平等な抵抗”はこれらの裁判上または立法上の“創られた権利”の基礎である。求職者、長髪学生、貧民、市民にとり、これら諸権利の実施はアメリカ人が享受する生活の質を大いに決定する。どのアメリカ人もこれらの問題を絶対に必要と考えるべきである。

○「古代世界」 10、11、12

このクラスは、先史人からローマの没落までの歴史上の時代を、内容範囲にする。クラスは人類、歴史を造った人、そして過去の大事件と今日の歴史的突発事件との関係を取り扱う。クラスは討議を基礎とする講義クラスとして管理される。授業時間以外の勉強は最小量しか要求されない。それはほとんどすべての題材が講義ノートにより網羅されるからである。

○「ヨーロッパ；1865年までの中世」 10、11、12

このクラスは暗黒時代からアメリカ南北戦争までにわたる。ヨーロッパ各国で時代思潮の変革をつくる手助けをした人たちに、特別に注目される。クラスは討議を基礎とする講義クラスに管理される。生徒が「古代世界」を履修しておくことは、助けになるであろうが、必要条件ではない。

○「現代の論争点（現代の出来事）」 10、11、12

多くの国内および国際的論争が、起源、現状、多くの分岐を研究する客観的学習を通して、探究されるであろう。学習される論争点は、生徒と教師により決定され、政治・経済問題から社会・文化論争までならぶに違いない。いくつかの見本は、中東問題、反ユダヤ主義、教育改革、福祉、軍事と産業癒着、インフレーション等を含むであろう。重点は研究と討議である。

○「20世紀世界史Ⅰ」 10、11、12

この科目は20世紀の大事件と歴史的運動を網羅する。「Ⅰ」は1900年から1938年まで、「Ⅱ」

は1938年から現在までをやる。含まれる学習項目の範囲は20世紀ナショナリズム、世界大戦、1920年代と1930年代の問題、ソビエト連邦と赤い中国の勃興、第2大戦以来の諸国の実状である。この2か学期継続における目的は、現在の形態の世界を具体化してきた20世紀の主要な出来事理解をもつことを、生徒にできるようにすることである。

○「20世紀世界史Ⅱ」 10、11、12

上述の通り。

○「極東学習Ⅰ」 10、11、12

中国の学習。台湾の国民党中国を含む中国の、歴史、政治の発達、文化、および地理の学習を包括する。生徒は講義、討議、そしてグループおよび個別プロジェクトに熱中させられる。最重点は今日の世界における中国におかれる。

○「極東学習Ⅱ」 10、11、12

日本の学習。日本の歴史、政治的発達、文化、および地理の学習を包括する。朝鮮が中国と日本の間の環としてまた取り扱い範囲内に入れられる。生徒は講義、グループおよび個別プロジェクトに熱中させられる。最重点は今日の世界における日本におかれる。

○「世界地理」 10、11

商業と経済の地理の関係。商業地理は供給と需要の立場から地理の商業的局面を取り扱う。作物、天候、気候および天然資源が、熱中させられる勉強により説明される。重要なことに、それは生存競争における人間の成功または失敗の物語りである。経済地理とは、人間はいかに食糧、衣服、宿所、燃料、道具、工業原料が欲しく、またそれらが必要な生活するか、また人間に確実な特色を与える自然現象の影響、の学習である。

○「戦争と平和」 11、12

この科目は、国家の政策の手段としての戦争を廃棄し、国民と国家の必要を会わすことができる平和機関を完成することの、過去・現在そして未来の効果に関係する。古代から現在までの戦争の原因が調べられ、平和を探究する独立国間の関係が学習される。地球村を組織するため大きな提案が考えられるであろう。そして共産主義と自由世界の勢力の間の競争にあらわれている特別な問題による制限も含まれる。

○「世界の将来」 11、12

この科目の目的は(a)社会を形づくりまた変える勢力の理解、と(b)それらの支配と管理に対する洞察、を獲得することである。学習の範囲は、(1)公私の生活上の技術的発達の衝突、すでに速く変化した社会における変化の加速率の効果、(2)1種でない文化変化、文化遅延、文化衝撃もたらす大きな問題、(3)1つの社会が価値を同一視し、目標を設置する方法、すなわち変化の取り扱い、変化社会との二者択一、(4) (a)われわれがどこにいるか、(b)われわれはどこへいきたいのか、(c)われわれはそこでどうして得るか、という社会的目標に関係し、達成する上に個人的に効果のあること、である。

○「ソビエト連邦、理論と現実」 11、12

この科目は20世紀におけるソビエト制度の理論と現実の客観的眺望を強調する。ツァー主義者の遺産、マルクス・レーニン主義、ボルシェビキ革命、政治・経済・社会・文化の基礎的個条におけるソビエト制度の20世紀の発達、に関する簡単な考察を含む。重点はソビエトの強所と弱所、理論と現実の相違、今日の世界におけるソビエト連邦の地位の評価、にある。広い読書と討議が強調される。

○「地域社会奉仕と責任」 10、11、12

この科目は生徒に、地方的必要を知らせるプロジェクトの上で地域社会から同一視される機会

を提供し、同様に、必要にされる集会で手伝う機会を用意する。多くの機会が生徒に市民的・社会的責任から直接参加する体験を与える。この科目は、生徒に政治のやり方についての最初の手の経験を準備するのみならず、また生徒のエネルギーの最も実的な出口を与える。責任がこの体験の鍵である。実際のプロジェクトにより生徒は、関係範囲における各種の様式の個別的学习をもつであろう。

○「人間関係」 10、11、12

このクラスは、今日の世界における現代生活の実際の様子を取り扱う企画である。このクラスは、今日の複雑な世界における広範囲の主題と問題に参加し、話し合う機会を生徒に提供するよう計画される。重点はクラス討議、臨機の講演者、グループおよび個別の割当て勉強に置かれる。以下が学習題目の例である。成功の動機づけ、個人関係、生活様式、親と10代との関係、家族生活。この科目の目標の1つは、他人と他人の必要に対する深い感受性の発達である。また、他人の個人的必要に応ずる、地域社会内のプロジェクトにおける個人的かかちあいの機会が与えられる。

○「学校において、そして変化」 10、11、12

今日アメリカの教育制度は親たち、学生や教師から非難されている。それがうけている批判はあまりにも多すぎる生徒の自由から、窒息させられた創造性—かたくなな制度の所産—までならぶ。教育のよりよい理解を得る企画において、この科目は、アメリカの教育の歴史的発達をかんたんに調べ、それから、現在の傾向と改革の提案に専念する。開放学校、自由学校、フレキブル・モデューラー・スケジュール法、壁なし学校、小児学校、無学年学校、保証人制度、モンテッソリ学校、サマーヒル、個性化制度を含む、現在の傾向が調べられる。利点と限界をもつ現在の学校制度が学習される。この科目はまた生徒に観察と個性化制度の体験を与えるよう計画される。職業として教育に関心をもつ生徒は、この科目からもっとも利益を受けるであろう。

□「ロシアと東ヨーロッパ学習」 11、12

「ロシアと東ヨーロッパ学習」と修学旅行は、2年生と3年生の制限された構成員で開かれ、また、ロシア社会およびギリシアと東ヨーロッパの関係地域の広い理解を完成することを、最優先努力目標とする。この1クレジット、選択科目における学習題目は、ロシアの地理と歴史のかんたんな概観、ソビエト社会に関係ある現在の話題を選んでソビエト連邦の政治と経済の制度、および文学・音楽・建築・絵画についてのある程度の強調を包括する。そして、ギリシアとハンガリーに関係するこの種のいくつかの話題をやる。この科目は「社会科12」（必修クレジット）に代用することが許される。この科目は幅広い読書、討議、考えの変更、個人的調査を強調する。限られたクラス時間は、旅行のオリエンテーションと、「ロシア学習」で特別化された地域に含まれなくて、旅行で訪問される他の地域の背景、にあてられる。22日間の修学旅行は、この「ロシアと東ヨーロッパ学習」計画の一部分であり、登録は科目と旅行の両方を含まねばならない。旅行は1973年8月の予定で、仮の旅行日程はモスクワ、レニングラード、キエフ、アテネ、ビエンナ、およびブタペストを含む。

○「心理学」 11、12

心理学は、動作の科学的学習として定義されてよい。どの科学も大きな価値は、科学が人間の仕事の問題に与えることができる援助にある。心理学は、人があるようになぜ人があるか、人が振舞うようになぜ人が振舞うか、を取り扱う。生徒は個性形成、遺伝と環境の影響、知能、効果的学习習慣の発達、人間関係、精神衛生のような心理学の多くの範囲を概観する機会をもつ。生徒は毎日の生活における心理学に関連をもつ補足的教材を読むことを期待される。学習活動は役割演技、無語句学習、ケース学習、および生徒に特別な興味がある関係主題についての研究論

文を含む。

◎「討論Ⅰ」 10、11、12

この科目は生徒に討論、討議、その他討論に適する分野の基礎を準備する。現代の討論の議論と討議の題目が討議され、探究され、分析される。生徒は討論の大意と討議の輪郭を下調べする。証拠の探求と収集が強調され、同様に話す態度も力説されよう。生徒は討論に適する他の分野も勉強することを期待される。科目の勉強は時間を消耗し難かしい。学業成績 B 以下の生徒はこの科目からあまり大きな利益がないであろう。他の高校との間の討論会への参加が命じられるであろう。

◎「討論Ⅱ」 10、11、12

この科目は討議や討論の蔭の理論を強調する。論理、説得、議論の基礎が勉強の大きな範囲である。この科目は「討論Ⅰ」の基礎理論の応用を含む。この科目が多くの時間と努力をとることが強調されねばならない。登録する生徒は時間を有効に使うことが期待される。この科目の最終部は、討論・討議・説得・議論の能力の実際的発達に到る理論の応用である。学校間の競技会が命じられるであろう。

◎「話し方Ⅰ」 10、11、12

これは行為の科目である。それは2つのことを準備する。(1) 各種の話す態度の形式の準備、(2) 学校や人前において発表したときのほんものの聴衆、である。第1学期に各生徒は次の話し方の勉強の分野から4つを選ぶであろう。独創的な雄弁、非独創的な雄弁、討議、即興話術、ユーモアな演出、厳粛な演出、物語り話術、即興朗読、ラジオ・テレビのニュース放送。基礎的知識と技術に加えて準備の経験は、第1学期の間選択されたそれぞれの分野で獲得されるであろう。

数 学 Mathematics

☐「数学9(代数Ⅰ)」

この科目は、根・累乗根・特別な積・因数・2次方程式の基礎的運算、性質、記号、数字、オープン・センテンス、体系を取り扱い範囲に入れる。

☐「初歩代数」(2年連続の2年目)

この科目は、中学校で始められたシーケンスの連続で、ここでは学習の歩調が、概念を開発するのにもっと時間を要し、同じく1か年で可能である以上に各概念をもっと練習する、生徒に適するように調整される。初歩代数のあらゆる技術と幾何の、若干の単元が2年連続の2年目に修得される。

☐「数学10(幾何)」

この科目は平面、立体および座標幾何学からつくられる。それは推論、平行線・面、合同三角形、多角形、円関数、作図と軌跡、座標幾何、平面図形の面積、立体の面積と体積を含む。

☐「数学11」 10、11(必要条件、「数学10(幾何)」)

註. できる生徒は「数学10」を中学校3年で修得し終えている。

この科目は、「数学9(代数Ⅰ)」の復習からはじめ、ついで多項式、根号、円錐断面、関数、三角関数、行列式、対数と、また代数学から選ばれた題目の究明に続ける。

注意、次の継続の勧告は「数学11」の上に続ける生徒のためである。

1. 数学および関数の分野に勉強を延長する計画の生徒には、「数学12 A」、「数学12 B」、「数学13 AおよびB」。
2. 経済、社会科、商業、生物に将来を計画する生徒には、「数学11」から「数学12 C」へ行く可能性の若干の生徒と一緒に、「数学12 A」および「数学12 C」。

○「数学 12 A (三角関数)」 11、12 (必要条件、「数学 11」)

この科目は、代数・指数・対数の関数の補助的学習を伴う円関数の詳細な学習を包含する。そしてあらゆる数学関連の分野に学習を計画する生徒にすすめられる。

○「数学 12 B (解析幾何)」 11、12 (必要条件、「数学 12A (三角関数)」)

この科目は、伝統的方法とベクトル方法の両方を使い、解析幾何学を詳述する。それはまた初歩微積分学の補助的勉強を含み、そして微積分の解法からとられた一揃いの計画された代数と幾何の問題を含む。この科目は数学と微積分学を要求する関係分野に継続学習を計画する生徒にすすめられる。

○「数学 12 C (確率と統計)」 11、12 (必要条件、「数学 11」)

この科目は、データの採集、データの分析、および推論の作成、を含む。そして社会科学、生物科学、および知的職業分野に勉強を続行する計画の生徒に勧められる。

○「数学 13 A」 12 (必要条件、「数学 12」のクレジット)

この科目は、数学科における上級の大学入学用科目の、2つのセクションの第1部である。主に解析幾何学から構成され、若干の微積分入門も含まれる。

○「数学 13 B」 12 (必要条件、「数学 13 A」)

この科目は、「数学 13」の第2学期部門であり、主に微分と積分の両方を含むカリキュラムのより高度の学習を取り扱う。

○「個人財政の数学」 11、12

株式市場、保険、分割払い販売、所得税、給料支払い簿の問題が、主に2年生と3年生のため設計された1か学期科目において学習される、若干の範囲である。いくつかの勉強が、計算の個人的な点検と個人的記録の記入とともになされる。

○「コンピューター数学」 11、12

この科目は生徒に、データ処理の性質と、キイのあるコンピューターの構成要素および特徴の一般的導入、を紹介する。プログラミング・システム、基本的流れ図、および問題分析の学習が含まれる。フォートラン言語がD.A.I.T.コンピューターの学生プログラムを管理するため学習される。

○「一般数学Ⅱ」 11、12

この科目は、以前に高校で提供された「一般数学Ⅰ」の修正版であり、2年生と3年生に役立つ。この修正版は、もっと広く実的な学習をプレゼントするように指導されてきた。整数、小数、分数についての加・減・乗・除の四則の計算を取り扱い範囲の内容とする。これは実際に本当の生活場面に応用することで完成する。「数学 10 (幾何)」を習得できた生徒は「一般数学Ⅱ」をとることができない。

○「数学、人の努力」 11、12

この科目は、厳格に構成された形の数学の学習にいくらか困難を経験してきた生徒に、追加的数学経験を用意する企画である。選ばれた題目を調べる。数学的推論、若干の略式幾何、三角関数、統計と確率、位相数学の題目の学習が含まれ、あらゆる勉強中生徒が熱中することに重点を置く。

○「応用数学」 11、12

この科目は生徒に特別な商売に関連する数学の経験をプレゼントするため企画される。題材は自動車、電気、電子工学、金工、印刷、石工、機械の工場、そしてもし題材がみつけれらるならば、個々の生徒に望まれるその他の商売、の数学に役立つであろう。生徒は必要な教師の援助をえて、自分の選んだ商売の中の題材を、選んで学習することを期待される。これは教師主導の科

目ではない。

理 科 Sciences

◎「解剖」 11、12

この科目は人体解剖の骨子を勉強したい生徒の必要にあうように設計される。それは看護、体育、医学、歯科、その他関係の分野に興味をもつ生徒の助けになるであろう。この科目は猫の解剖からなる。この科目は「生物」の1科目を修得し、“B”の成績をとる2年生と3年生向けである。

◎「生理」 11、12

人体生理学は「解剖」を完成履修した生徒のため第2学期に与えられる高等な科目である。この科目は主に人体の各種の組織の機能を取り扱う。

□「基礎生物」 10、11、12

この科目は理科があまり得手でない生徒に特に適する。それは、実験室に方向づけられる実験を通して、生態、エネルギー、生殖と遺伝に興味をもつ生徒がこれらの分野を探究する機会である。それは生徒にとり、上記の領域の問題を解決する上で、生物学者の仕事ぶりのように勉強する機会である。実験、解剖、クラス議論のかたわら、映画が適当な時間に随所に使われる。宿題 homework は最小である。生徒用実験手引書に料金2ドルがある。

□「生物（正則）」 10、11、12

高校理科としての生物の重要性が科学重視の今日大いに増してきた。この科目は、科学の研究過程の原理と科学思想の歴史、を生徒に提供するよう設計される。主な強調は生物を調査し探究することである。観察、実験、仮説、検証がこの構造物の四隅である。われわれは、細胞の微細構造から、組織と機能、個体、個体群と種、群生・群落、全世界の生物の分布までの、あらゆる段階の生命ある有機体の均衡した考究に関心をもつ。主要テーマは、1.調査と探究の科学 2.生物概念の歴史 3.構造と機能の相互作用 4.タイプの多様とパターンの単一 5.時代、進化、遺伝の連続を通じての有機体の変化 6.有機体と環境の相互作用、調節と恒常性、行動の生物学的根元

□「入門化学」 11、12

この科目は正則の「化学」で扱うと同じ学習項目が多い。数学にほとんど強調がなく、ここでは「数学10」が必要条件でない。この科目は、大学で科学専攻を企画しない化学諸科目にもっとも普通に見出されるこれらの分野へ、見込のある生徒を案内するように企画される。看護に履歴を考え、数学の素養が限られている女生徒は、正則の「化学」の代わりにこの科目をとるとよい。

□「化学」 11、12 （必要条件、「数学10」）

「化学」は物質、物質がこうむる変化、含まれるエネルギーの学習である。あらゆる物質にとり真実であり、より広い帰納的結論の個条における特別な反応、を理解することが化学者の目標である。これを行なうため、化学者は、物質とは何か、物質はどう構成されるか、を理解しなければならない。ひとたび物質の性質が理解されると、物質がどう反応するか、を予言することが可能である。物質を支配する法則は現実には数学的であるから、代数の理解が化学の理解に必須である。

□「生物への生態的接近」 10、11、12

生態学の第1領域は、食物連鎖、個体群と群生・群落、現在および過去の環境の中の生命有機体の多様性の学習において、生態学者が用いる技術に生徒が熟達することを可能にするように企画される。現実の問題は、小グループまたはチーム活動を利用する野外勉強、図書館勉強、解剖

を通して、発表され解決される。討議はクラス構成員またはチームにデーターを報告する上で必要である。

生態学の第2領域は、環境の中における植物と動物の相互作用の現象について深くきわめる。細胞のエネルギー、役割を果たす植物と動物、行動、生殖と遺伝のような領域が探求される。生命の蜘蛛の巣の上の進化と人類が、またこの科目で与えられる。今日の世界の重要で関係深い学科の題材である。生態学者により開発された実験室実験や、構成生徒の相互作用の状況で討議や映画学習が、もっと行われるであろう。

□「P.S.S.C.物理」 10、11、12

「P.S.S.C. 物理」は、今日の物理を説明し、主題の発達と構成を強調することを企てる。この科目は、新しい問題に物理の考えを用い、新しい情勢に実験室で学んだことを応用する能力と意志の上で勉強する。この科目は4つの密接に相互関連する部分から設定される。1.時間、空間、物質の基礎的な物理的説明法、すなわちそれを把握し測定する方法の一般的導入。2.光とその性質。映像反射、視界上の屈曲と干渉、光の粒子および波動性質の理解への誘導。3.“ニュートンの法則”は、力が知られるときに力のよりよい理解に導き、運動が知られるとき力を決定することを導く。ニュートン“法則”の使用を通じて運動量の存続の法則が紹介される。4.電気とそれを通して原子の物理の紹介。役に立つ実験室設備、映画およびスライドが広く使用される。生徒は代数の知識の勉強をもたねばならない。

□「プロジェクト物理Ⅰ」 10、11、12

物理学は、その(物質とエネルギー)学習が自然の働きについてのより包括的な考察を産む、関係概念のシーケンスである。「プロジェクト物理」の目標は、理科志望の生徒と同様に理科をこわがるものにもアピールする、凝集しテストされた科目を用意することである。

「プロジェクト物理」は柔軟なアプローチ、多手段システム、多くの実験室調査の使用、そして適当量の視聴覚教材、プログラム化された教授、補遺の単元、指導者、および生徒の学習活動と組合わされた実証、である。

それは、人道的視点から、活潑で基礎的な科学として、芸術・音楽・社会問題等の成就に密接に関係する学習活動として、もっとも基礎的な自然科学の業績を性格づける諸要素を強調する1つの科目として、一連の孤立する事実よりもむしろ基礎的概念に向って努力する人間の物語として、アプローチされる入門の物理科目である。

□「プロジェクト物理Ⅱ」 11、12 (必要条件、「プロジェクト物理Ⅰ」)

この科目の授業は、「プロジェクト物理Ⅰ」で考究されなかった学習題目および「Ⅰ」から選んだ上級の題目、の遂行である。それは個別の実験室調査と探求活動または計画課題 projects から成る。電磁気と原子核物理が大きな考究である。

□「上級物理」 11、12

この科目の授業は物理における初歩の勉強の幅広い展開である。それはベクトル、等速度・加速の直線・円運動、光、波動メカニク、保存の原理、電気、磁気、電子物理のような学習題目の包括的研究を含む。生徒が選んだ特別な題目に特別な注意がはられるであろう。重点は自然科学の理解、発達、および構成におかれる。

□「自然科学」 10、11、12 (「物理」、「化学」との重複修得は許されない。)

この科目は、理科(物理、化学、気象の学習)をもっと勉強することが好きだが、数学の準備または高等な理科の才能に欠ける者のために主に企画され、かれらを物理や化学から資格の制限をしない。「自然科学」は「物理」や「化学」の代替を企てない。しかしそれらの準備科目として役立つ。「物理」や「化学」に現在受講しているか、またはどちらか一方の科目を習得した生

徒は「自然科学」に資格がない。この科目の授業は、エネルギー、電子および原子核エネルギー、化学変化、運動、気象、という授業題目の理論と最小段階の実験室研究を含む。

外 国 語 Languages

□「フランス語Ⅰ」 10、11、12

イースト高校で開かれる「フランス語Ⅰ」は、中学校で使われたと同じ教科書と教材を使用する。土着の人の話し手のテープレコーディングにより容易にされる、会話フランス語が強調の中心となる。クラスで取り扱われる対話を補修するため、家庭で使うレコードがある。その他に授業はEcouter et Parler という教科書と練習帳を含む。フランスの文化と文明は教科書に16ミリ映画と映写スライドを伴ってのべられる。学校教育用の月刊Bonjourはフランス生活のいろいろな様子を見させ、読書、ゲーム、クロスワードパズルを通して語彙を豊かにする。生徒はⅡ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴを通してフランス語を続けるように勤める。

□「フランス語Ⅱ」 10、11、12

「フランス語Ⅱ」の目標は「フランス語Ⅰ」で述べたものと同じでEcouter et Parlerのテキストで勉強をつづける。基礎的技術は読み、書き、話しにもっと注意することである。即坐の矯正が個別の読み手に与えられる。小喜劇と対話を発表する若干のグループ勉強。

□「フランス語Ⅲ」 10、11、12

段階 level Ⅲ^註の生徒はChez les Francaisというテキストから読む。文法の説明を除き、クラスはみなフランス語だけを使う。もっと多い文化がこの教科書の中で述べられ、そしてプログラムのレッスンとできるだけ一致する毎週1回の“文化の日”(通常金曜日)によって補われる。学期ごとのプロジェクトが、それが割当てられる前に生徒と論議されて、個別にかグループに要求されるであろう。

註．イースト高校と連絡する中学校では、2年生(8学年)から「フランス語」の選択科目が開設されるから、新入生の中に「フランス語Ⅱ」まで既習したものがある。

□「フランス語Ⅳ」 11、12

歴史、地理、芸術、音楽等がCe Monde des Francais と Personnages の2つのテキストについてこの段階で学習される。歴史の概要が重要な資料により与えられる。生徒に面白い時事問題に関する生徒指導の週1回のディスカッションのグループ。いくらかの作家の作品の要約。Le Petit Princeの完本。文化の日が続けられる。

□「フランス語Ⅴ」 12 (1/4 乃至1クレジット)

「フランス語Ⅴ」は4クォーターに分けられ、その各々または全部を生徒がとってよく、取得のクォーターにそれぞれ1/4 クレジットを与えられる。第1クォーターは、学習を元気づけるためところどころに入れられる少々の教養を伴う、文法と音声の完全な復習である。第2クォーターは、19世紀までの文学から読み物が与えられる。第3クォーターは美術、音楽、絵画、詩政治、哲学に当てられる。第4クォーターは19、20世紀の文学にあてられる。プロジェクトとディスカッションがときどき入れられよう。

□「ドイツ語Ⅰ」 10、11、12

「ドイツ語Ⅰ」は話し書くドイツ語の基本型の紹介である。目標は会話ドイツ語で使われる基本技術を教えることであり、そのさい視聴法 audio-lingual approach が使われる。生徒は、土着の話し手により作られたテープにより教室で勉強し、同じ声のレコードで家庭にて練習する。スライド、映画、歌、および補助的読み物がドイツ文化と文明をしめすのにもちいられる。生徒に自分の使用のさい言語パターンをうまく扱う好機を与えるために、クラスでは多くのグル

ープ学習がなされる。ドイツ語を段階ⅡとⅢを通して継続することが強くすすめられる。

□「ドイツ語Ⅱ」 10、11、12

「ドイツ語Ⅱ」は「ドイツ語Ⅰ」で始った話し書くドイツ語の基本型の継続である。それは、Ⅰ段階の教材の復習が中に組み込まれる新しい教材をあらわし、内容と構成においてより多くの合成物である。より多くの読書がⅡ段階でなされ、ドイツ語学習雑誌のような補助教材とドイツ語の短篇物語が使われる。再びⅡ段階の生徒はⅢ段階に続けるよう奨められる。

□「ドイツ語Ⅲ」 11、12

「ドイツ語Ⅲ」は、はじめの2年間の勉強をひろげて、外国語のさらに高い学習を与える。生徒はドイツ語で自分の考えを述べるじゅうぶんな能力があるので、読書と作文における基本技術に重きがおかれる。文法の説明を除き、クラスはみなドイツ語だけ使う。この段階は、生徒が楽しい易しいドイツ語をつかい解することができるので、すぐく満足感を生徒に与えるように見える。

□「スペイン語Ⅰ」 10、11、12

ラテンアメリカの急速な発達が近づいたことは、外国語の中から実際の選択としてスペイン語を示唆する。「スペイン語」学習の目的は言語コミュニケーションの技術を得ることである。第2の目的は、人間の問題の普遍性の理解、表現様式が学生と同じでない人への感情の移入、人間であることに多くの方途があることの悟り、を得ることである。これらの目的は「スペイン語Ⅳ」までつぎつぎと進む。「スペイン語Ⅰ」において生徒は、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの技術を、対話やドリルによって進歩する。第1年目に生徒は、映画、スライド、テープ、ワークブックを使ってこれらの技術を獲得し、そのため生徒は、勉強の体験を強めるため、専用の視覚像を見る間に言葉の音声を聞く。これらの映像は、スペイン語を話す中産階級の家族の毎日の生活環境にセットされる。スペイン的世界の文化の様子はスライド、映画、特別レポート、招待講演者、英語での読書によって学ばれる。生徒はこのクラスとともに発見を分かちあうであろう。

□「スペイン語Ⅱ」 10、11、12

生徒は、より複雑な構文、過去時制、未来と条件的時制、使いこなす力、に続ける。かれは、かんたんなラテンアメリカ社会経済地理を読み、短期準備会話に従事し、テキストから題目につき短文を書く。自由会話が始まる。かれの文化学習はスペイン語で要求される。国内を廻る旅行者に役立つ語句のための、短かい单元がある。この段階では生徒は新しい型を使う。クラスは進歩の基準で数グループに分けられる。生徒は学習案内を受け取り、そしてかれとそのグループは計画者、テープレコーダー、ワークブック、グループ会話、そして学習案内に取り上げられる目的をし遂げる会議、を使う。かれはちょうど言葉に楽しさを感じはじめている。かれはここでこの言葉をやめないと同じく、悪く忠告される手段を講じることができない。たった2年間の学習が損失であるということはあまり多くない。

□「スペイン語Ⅲ」 11、12

第3年目に生徒は外国語学習の報償を得る。すなわちかれ自身の使用において巧みに言葉の文型をつかう能力である。現在ではかれの基礎構文を終えた。かれは今、文法と熟語の一般的復習を開始し、主格法の学習を加える。生徒は現代作家の文学選集を読む。かれはクラスにかんたんな口頭の報告をし、先に学んだ教材からの題目で広範囲にわたる短文を書き、個人的興味によって広く下調べされた会話をやる。単語学習と語彙建造がこの年強調をうける。かれは土着の速度で話す非専門的スペイン語を理解することができ、かんたんな欲望や考えを述べることができる。

□「スペイン語Ⅳ」 12

生徒はしばしばテキストを離れて、かれが4つの技術について学んだものを役にたてる。かれは規則的に新聞を読み、事前のクラス準備なしにいくらかの短文の作文を書き、かれのテキストやイスパニア世界の時事的出来事からの主題における自由会話を行なう。かれのテキストは現代小説家と戯曲家から文体論者諸点を述べる。生徒は、示唆されたスペイン語から、またはかれにとり面白いイスパニア的世界の様子について自由な読書をするを促がされる。かれは今外国語にまったく愉快であり、こみいった考えを理解でき、しかもかれ自身をじゅうぶんに述べることができるに違いない。

芸 術 Art

特別な仕事場 studio 科目から生徒に最大の利益を与えるため、生徒が「芸術Ⅱ」または「デザイン探求」を取得することを要求している。これらの科目は、宝石細工、陶芸、版画、彩画、彫刻のような、幅広い種類の設定領域を開発する上で、生徒に最大限の熱中と成功を与えるよう、特別に設計されてきた。それぞれのデザイン問題の解決を通してこれらの領域に直接に接近することにより、生徒が、優秀な芸術作品を創作し、特別な仕事場領域におけるより以上の学習のための堅い基礎を完成することができるだろう、と思う。

勸告、10 学年生—「芸術Ⅱ」 (全年)

中学校で3年間の「芸術」経験をもつ 10 学年生—「デザイン探求」(1 か学期)

以前に芸術経験のない 11、12 学年生—「デザイン探求」 (1 か学期)

それから後、生徒は以下の設定科目から選択してよい。

□「芸術Ⅱ」 10、11、12

全生役に開かれる全年芸術科目。この科目は、デザイン、描画、彩画、彫刻、陶芸、宝石細工および織物を含む芸術の学習に、普通に結び付いた、大きな領域における基礎を内容とする。この科目は専門化された芸術の諸科目の素養として作用することができる。5 ドルの材料費が請求される。

◎「デザイン探求」 10、11、12

3 か年の「中学芸術」をとった 10 学年生、専門科目をとる前に芸術の基礎を得ようとする 11、12 学年生のための第 1 学期科目。宝石細工、版画、織物、染色め、描画、彩画、および 3 次元彫刻の領域における材料の直接使用を通して、デザインを探究する機会を生徒に与える科目。特別仕事場科目の前に「芸術Ⅱ」か「デザイン探求」のどちらか 1 つを履修しなければならない。5 ドルの材料費。

◎「宝石細工Ⅰ」 11、12 (必要条件、「芸術Ⅱ」か「探求」)

この科目は生徒に自分の銀リングをデザインし鑄造する機会を与える。その他の工程は故銅板鑄造、純銀七宝、不透明と透明エナメル塗り銅、象牙・黒檀・金・人造宝石や石で個々の宝石を形作ること、を含む。手造り胸飾りや首飾り、ペンダント、ピン、耳飾り、カフスどめ、ネクタイピン、ブローチ、ベルト、バックルもつくることができる。この科目は、生徒が高価な金属と精密器具と設備で仕事するので、生徒が職人になることができるように計画される。第 1 の関心は、生徒に強いデザイン感覚および鑑賞を発達させることである。7 ドルが材料に請求される。

◎「写真網版」 11、12 (必要条件、「芸術Ⅱ」か「探求」かまたは教師の同意)

生徒はカメラと暗室の技術に経歴をもたねばならない。「写真網版」は比較的新しい領域で、1 科目として最初にイースト高で提供される。それは商業的技法でありまた美術でもある。それは新聞と同様に木版、陶器、衣服等のような材料にも応用できる。それは写真と絹紗騰写法を結び、フィルムと網版感光乳剤の探究を含む。クラスは 12 名に制限される。7 ドルの材料費が請

求される。

◎「水彩」 11、12（必要条件、「芸術Ⅱ」か「探求」）

水彩画は、美術媒体として当然の名声を勝ち得ており、水彩画の自然で不思議な性質は、できるだけ多く野外で描きスケッチすることを通して開発されるであろう。次の技術が開発されよう。

1.各種重質紙上での画筆と水洗の技術の配合。2.140ポンド水彩画用紙を張ること。3.上塗りと下絵の技術。4.絵具の混合。5.専門的道具と技術。強調される領域は、1.木、土地風景、都市風景。2.活動中および静止の人物像。3.大気の性質、である。基礎技術に熟達後、生徒は自分の命令に従うことがすすめられるであろう。ベイフィールドへ絵かき野外旅行が予定される。テキストはHenry GasserのGuide to Painting（ペーパーバック）。5ドルの材料費が請求される。

□「油絵」 11、12（必要条件、同前）

「油絵」は、生徒が深く技術と創作過程を学ぶ大きな機会をもてるように、始めて全学期科目として設定される。科目は、1.カンバスの用意 2.画布を張る枠の構成 3.組立て技術 4.画筆とパレットナイフの技術 5.絵と上塗り 6.色彩理論 7.壁画の歴史と哲学、を含む。スケッチのためベイフィールドへ終日の野外旅行が予定される。テキストはHenry GasserのGuide to Painting。学科の領域は、1.土地風景、海風景、都市風景 2.人物、肖像画、現在芸術様式。最初の経験の後に生徒は、自分の欲するどの領域の絵でも探求することをすすめられる。6ドルの材料費が請求される。

○「織物」 10、11、12（必要条件、同前）

「織物」は芸術様式としての織布、マクラメレース、敷物の編物、蠟染め、およびタイダイに打込む1か学期科目である。生徒は、これらのおおのの領域で芸術的作品にとり組み、そして織物にとり入れるデザインに熱中するであろう。基本用具は備えられるが、生徒は織り糸を取り付ける。6ドルの代金が請求される。

◎「自主学习」（教諭の同意）

芸術の特別な領域を深くやり遂げたい生徒は、教諭の承認の上で、1/2クレジットの「自主学习」を取得してもよい。

◎「版画」 10、11、12（必要条件、「芸術Ⅱ」か「デザイン探求」）

この科目は、リノリウムと木版印刷とボール紙印刷の工程を内容とする。版画の基礎的な技術ではじまる。これら工程のうちに生徒は、金属板画をだんだん作り上げたり、違った出来上がりをもたらしように版木を切り取ることを学ぶ。プラスチックと金属の食刻、複写、絹紗謄写版、そして石版印刷は、確実な効果を得るため、資材の大きな変化と扱いにうまく適する、より複雑な技法である。材料に5ドルの請求がある。

◎「彫刻」 10、11、12（必要条件、同前）

「彫刻」は理想の探求と、それを3次元様式に移すことに熱中する。塑造過程は、粘土かワックス模型から最終の石膏、金属、またはプラスチックの塑像までが取り扱われる。仕事をする若干の材料は、補強材、鋳型、そして彫金、金属模型、造型糊、錫、故金である。われわれがつくる自由な型体は、各個が高度に個性的であり、バランスにおいて生徒自身の趣味、または空間における勢いの配分を反映する。新しいスポット溶接工法は生徒に直線金属の構造物を創造することを許す。5ドルの材料費が要求される。

◎「陶芸」 10、11、12（必要条件、同前）

次の技術を含む。1.とぐろ巻き、平板、削型による手造り陶器。2.轆轤による陶器。3.上塗りと焼く技術。材料費5ドル。

◎「宝石細工」 11、12（必要条件、「宝石細工Ⅰ」）

「宝石細工Ⅰ」の延長であるこの科目は生徒に、七宝塑型、銀のエナメル塗り、金属と木の結合、象眼の過程で苦心して造る好機を与える。昆虫や植物を焼き出すことは特別な遠心力を応用した鑄造の問題であり、塑型に人造石を鑄造するのは他の特別な問題である。7ドルが材料費に請求される。

音 楽 Music

「聖歌隊」

声楽の全科目の目的は、高等学校でこの勉強を続けて歌うことが好きなもののため機会を与えることである。生徒は、優秀な標準の公演に合致し、また、音調・全音程の特性・発声法・句節法・はっきりとした言葉遣い・そして芸術的演出で歌い、そしてさらに識別力のある音楽家になる、ために必要である技術に精通する機会をもつ。イースト高校は声楽の学習に4つの機会を提供する。それは

☐「カペラ聖歌隊」 11、12（選抜）

「カペラ聖歌隊」は2、3年生で組織され、最上級の声楽グループである。この聖歌隊は、学校内外における公演で、もっともよくイースト高校を代表する声楽単位である。生徒は聖歌隊から選抜される。

☐「コラール」 11、12

「コラール」は、声楽訓練に興味があり、そして音度で歌う能力をもつ生徒から組成される。2、3年生の組成である。「コラール」は、もし「カペラ聖歌隊」のメンバーになろうと努めるなら、その生徒のため必要な訓練を与える。

☐「少女聖歌隊」 10、11、12 女

この聖歌隊は、音度で歌うことを欲し、歌うことができるどの女生徒にも開かれる。

☐「樺の木聖歌隊」 10

このヴォーカルグループは声楽に興味をもち、音度で歌うことができる能力をもつ1年生から組成される。他の聖歌隊と同様に、普通に傑出した聖歌隊に関連した諸特性を伸ばすため、よい聖歌隊歌唱の基本を教えることを企図する。

もしも上述のグループの1つに参加する関心があるならば、登録カードの「聖歌隊」にチェックするとよい。そうすると、教諭に招かれ、めいめいにテストされ、それぞれ資格のある聖歌隊に割当てられるであろう。

☐「バンド」 10、11、12

「バンド」は2部に分れる。1つの部は「ウインド・アンサンブル」とよばれ、メンバーは年度の発足時にはほぼ42名である。このバンドは各器楽種類のトップ・プレーヤーから教諭により選抜される。「代表バンド」は、「ウインド・アンサンブル」に将来ある時のため準備中の生徒を含む。「代表バンド」はまた演奏グループである。このグループからの音楽家たちがコンサートやポップ・バンドで演奏する。

2つのバンドにおける生徒のクラス配置は春のオーディションによる。バンドをとりたい生徒は登録カードの「バンド」の箇所印をつけなさい。そうすれば教諭から接触されるであろう。

☐「オーケストラ」 10、11、12

イースト高校「オーケストラ」は選抜科目で、仲間にオーケストラ文献の素養を与え、弦楽上の個別の技術を発達さすように企画される。オーケストラ文献は現在までの器楽の道理の全域を内容とする。器楽の経歴は助けではあるが、それは必要条件でない。唯一の必要条件、生徒がオ

オーケストラとともに試演し、練習し、演奏することを望むことである。オーケストラは、正式のコンサート、学校集会・卒業式・それに地域社会の小グループや個別発表、を演ずる演奏グループである。

体育・保健 Physical Education & Health

□「体育（男子）」 11、12

体育のこの科目は週当たり5日あり、1選択クレジット用となる。この科目は一般に体操、とくに身体に健康に高い関心をもつ男子のため設計される。体育と結びついた普通の領域における単元が含まれる。諸スポーツの全段階における技術と理解を増すように、重点的に指導される。

□「体育（女子）」 11、12

体育のこの科目は週当たり5日あり、1選択クレジット用となる。この科目は、身体に健康の訓練、スポーツ、および女子体育に通常結びついた関係諸活動に高い関心をもつ女子のために設計される。

○「女子体育」 10（必修、無クレジット）

○「男子体育」 10（必修、無クレジット）

体育は全1年生に必須である。通常の中等水準の体育に結びついた諸活動がこの科目の内容とされる。男子には、柔軟体操、身体的健康活動とテスト、タンブリング、バレーボール、重量挙げ、その他季節のスポーツが含まれる。女子体育は、身体的健康訓練とテスト、柔軟体操、バスケットボール、バレーボール、ソフトボール、サッカー、体操、および関係諸活動を含む。これらのクラスは週当たり2乃至3日ある。

○「女子保健」 10（必修）

○「男子保健」 10（必修）

人の健康の学習は全1年生に必須である。これらのクラスは、体育クラスと逆に、週当たり3乃至2日である。この科目で勉強される単元は、人体とその組織、人の注意と安全、公衆衛生、応急手当の関連事項、家族生活、精神衛生、食物と栄養、煙草とアルコールの使用の影響、および伝染病と保健の時事問題のような学習項目を含む。

家庭 Home Economics

◎「被服Ⅰ」 10、11、12

衣服の選択における社会的、経済的、文化的様式の影響、すなわち衣服の入手にさいし流行の循環、生地配慮、および製作の決定。被服製作の新しい現代技術は長上着の製作で教えられる。

○「被服Ⅱ」 10、11、12（必要条件、イースト高校でとつた「家庭ⅠまたはⅡ」、または「被服Ⅰ」）

ビショップ法によるドレス製作と洋服造りの高級技術の被服製作科目。ランジェリー縫いが含まれる。購入される教科書は Bishop Method of Clothing Construction。

○「結婚生活」 11、12 男女

この科目は、結婚までの選択をちょっと調べてみるが、基本的には結婚準備や結婚および結婚生活についてである。この科目は、君がもっとも気に入る種類の結婚生活のための準備をはじめられる今までは、君が考えて計画して決定することを助ける。この科目の第1部は、何か磁石のように男性と女性を結婚にひきつける個人関係、すなわち家庭と家族の初期の影響、デート、失恋、婚約に関係する。第2部は、結婚の日程、結婚式の計画、結婚、家庭の設立、およびその継続に焦点を合わせる。これは、君が生涯で最大の契約にサインする前に、見、聞き、考える君の好機である。（以前は「家族生活」）

◎「居住」 11、12 男女

高校生が間もなくある種の独立した生活設備を設定するという事実の観点から、この科目は、住居の選定、家具の備付け、資金の供給、住居の維持、に関する知識と情報を取り扱う。個人と家族の、人体および心理的必要にかなうための方法、および国家・地域社会・または隣人の、経済的・技術的・文化的発達の表示としての生活基準を、生徒に眺めることを奨励するであろう。

◎「市販食品」 10、11、12 男女

この科目は、食品サービス関係の仕事に職業的関心をもつ者のために設計される。就職向けまたはパートタイムの仕事としての食物サービス諸業務の下調べの機会、乃至、より特殊な仕事の準備のための背景として役立つ知識・技術・態度の発達の紹介。食物サービスの基礎訓練、仕事にもっと気付かせること、および地域社会における君の役割、を内容にする。

○「独身生活」 11、12 男

大学・軍隊・または仕事のためのいずれにおいても、通常自分ですんで家を離れる男子生徒のため、独立生活の準備の学習。各種領域の消費者としての知識もちになることとホーム建設の教育。内容は、独身者の住所、台所における男子、ドルの取り扱い、人間のたくらみと類型。

○「現代の食品」 10、11、12

この科目は食物の準備、選択、および使用を内容にする。消費者抵抗と食品購入が学習される。実習室経験を通して適当で魅力ある食物を計画し、準備し、サービスすることに技術が開発される。(以前は「消費者食品」)

○「消費者教育」 10、11、12

この科目は各生徒に、自分の価値体系を発展させ、自分の価値に根ざすじゅうぶんな決定の手続きを発展させ、購入場所の価値の選択を検討して自分の金銭により最善に購入し、社会における消費者としての権利と責任を理解し、そして自由企業体系を監督する上での自分の役割を遂行することを助ける。これは真の生活問題を解決する直接の機会である。生活問題は、今君に立向かうのみならず、君の全生涯を通じて君に立向かい続けよう。

商 業 Business Education

□「会計Ⅰ」 11、12

この科目は2、3年生向けで初歩会計を考究する。それは商店、事務所、工場、その他の機関で使用される会計様式の学習である。生徒は、会計方式での着手、日報への記入、転記、週報の使用による期間の実業分析、の方法を学ぶ。会計計算または管理的職業に履歴を計画する生徒はもし実業世界に存在する各種のデータ処理技術をうまく処理する予定ならば、実際にこの概念の精通を必要とする。各種の手や指の計算機やコンピューターがこの科目に用いられる。

○「商業法規」 11、12

この科目の内容は個人の私的商業問題への法律の原則と手続きの応用を第一に取り扱う。それはまた生産物消費者としての個人に影響する全体の経済を規制する法律の理解を助長する。

○「現代商業」 10

これは、一消費者、一生産者、および一市民として個人の活動と責任に関係するので、商業システムの初歩的理解を発達させ、また、経済または消費者教育の上級科目に初歩的骨組みを提供するよう企図される。

□「タイプⅠ」 10、11、12

「タイプⅠ」の目的はタイプの基本技術を発達させることである。重点はタイプ技術の応用、すなわちノート・手紙・アウトライン・書き込み用紙・報告書・および論文をタイプすることであ

る。送り状、電報、その他商業関係型式のためのタイプ様式の導入。この科目は2、3学年で「速記Ⅰ、Ⅱ」を取得する計画の生徒に必須とされる。

○「個人用タイプ」 10、11、12

「個人用タイプ」は、長さで短縮された科目であることを除いて、「タイプⅠ」と基本的に同じである。両科目に使われるタイプのテキストは同じである。教材の選択では重点が非職業的使用である。余分の強調は、論文、脚註のあるレポート、内容の目次、手紙の変物形、手紙のタイプ、等の領域の技術確立にある。個人的使用が強調されるけれども、この科目はまた、将来商業の諸科目に関心をもつかかもしれない、と考える者のための探求の科目として考えられることもできる。

○「事務機器」 11、12

これは、そこで生徒が複写機、表記加算機、および計算機を操作する能力を獲得する1か学期科目である。記憶つき電気10鍵表記加算機、電気印刷計算機、覚書つき電気計算機、ABデック流動複写、ABデック騰写器、転写器、および電気特別タイプライターが用いられよう。生徒は学期中にすべての機器を利用する機会をもつ。

□「速記Ⅰ」 11、12（必要条件、「タイプⅠ」）

この科目はGregg速記の基本に関係する。それはすらすらと正確に速記文字を読みそして書くことを含む。商業の語彙、文法、綴字、および句読点の学習が含まれる。ディクテーションの初歩と転写技術の建設がこの科目の一部である。1か年の速記では就職にほとんど価値がないから、このシーケンスを完成するため生徒は「速記Ⅱ」をとることが強くすすめられる。

□□「速記Ⅱおよび事務実際」 12（2クレジット、2時間科目。必要条件、「速記Ⅰ」）

「速記」の継続練習が、「Ⅰ」科目で発達させられた速記原理の速度、実際、および復習の上に与えられる。新しいそして類似の教材のディクテーションが毎分80語から120語までの各種類の速度水準で与えられる。速記ノートは各種の文字様式で転写される。正式の秘書業務の訓練もまたこの科目の一部である。

「事務実際」は、生徒に事務手続きおよび秘書の諸特性を獲得させるため、提供される科目である。訓練は転写、ファイル法、および秘書の職業に関係したその他の技術で準備される。

□「大学筆記法（タイプで）」 11、12 男女

この科目は、生徒たちに、筆記法と、原稿・概要・および転写を含む個人用タイプの復習、を手助けする省略書きシステムを内容とする。

□「マーケティングと商取引Ⅰ」 11

この科目は生徒にマーケティングと商取引の分野の履歴可能性を開発する機会を与える。

「マーケティングと商取引Ⅰ」で学習される領域は、商取引の購入と販売、広告（ラジオ・テレビ・新聞）の展示、手や機器で文字が書かれる広告ビラ、および仕事をみつける方法を含む。生徒はまた全国組織であるD.E.C.A.（米国配給教育クラブ）に参加する。このクラブを通じて生徒は修学旅行、年次総会、その他職業活動に参加する。

□□「マーケティングと商取引Ⅱ」 12（必要条件、「Ⅰ」）

「マーケティングと商取引Ⅱ」は、生徒が、授業日の一部にクラスに出席し、その日の他の部分に仕事で働らく、協同教育プログラム cooperative education programである。生徒は教室授業で1クレジットを、職業訓練で1クレジットを受け取る。生徒は仕事についている間は実習生と考えられる。生徒は、仕事についている時間に、その職業訓練期間は規則的にかれの教諭により訪問されるであろう。生徒は雇用主によりその仕事に支払われる現行料金を支払われよう。生徒はまたD.E.C.A.に参加する。このクラブを通して生徒は修学旅行、年次総会、そ

の他職業活動に参加する。

☐「職業関係」 12 男女

“提携事務教育”は、生徒に学校で前に勉強した技術と概念を本当の職場の事務所で練習する機会を用意するため、地元実業界と教育界の間の連合の努力である。生徒は、「職業関係」と名づけられる関係のクラスを含み、かれらの正規のクラスで半日を過ごし、そして残りの授業日の半分の職場の事務所で実習訓練を受ける。生徒はまた O.E.A. (事務教育協会) という全国組織に参加する。生徒は事務職の履歴に関心をもつ場合にのみこのプログラムを選択すべきである。

☐「速記Ⅱ」 12 (必要条件、「速記Ⅱ」)

この科目は、「速記Ⅰ」の継続である。継続練習が速度、実際、および速記原理の復習において提供される。デクテーションが与えられ、タイプによる転写がこの科目の一部分である。転写機器の固有の使用による訓練がまた提供される。これらの生徒は「秘書実際」と一緒に 2 時間速記ブロックに登録しないであろう。

商業教育一秘書

典型的なプログラム

10 学年 **「個人財政の数学」 「現代商業」 **「タイプⅠ」
11 学年 *「会計Ⅰ」 *「速記Ⅰ」 *「商業英語」 *「商業法規」
12 学年 「速記Ⅱ」 「秘書実際」 *「事務機器」

提携事務教育

10 学年 **「個人財政の数学」 「現代商業」 「タイプⅠ」
11 学年 *「会計Ⅰ」 *「商業英語」 *「事務機器」
12 学年 *「商業法規」 「職業関係」

速記

10 学年 **「個人財政の数学」 「現代商業」 「タイプⅠ」
11 学年 「速記Ⅰ」 *「商業英語」
12 学年 「速記Ⅱ」 *「商業法規」 *「商業機器」 「職業関係」

配給教育

10 学年 **「個人財政の数学」 「現代商業」
11 学年 「マーケティングと商取引Ⅰ」 *「会計Ⅰ」 *「商業法規」
12 学年 「マーケティングと商取引Ⅱ」

*は 11、12 学年のどちらで取得してもよい、**は 10、11、12 学年のどちらで取得してもよい。

工業 Industrial Education

☐「航空技術」 11、12 男女

ドルース・イースト高で提供される「航空技術」は、文化的・社会的立脚点から人間と航空時代の関係の理解を、一方、同時に航空時代によって立つ基礎として奉仕する科学的・技術的様相に焦点を合わせることを、生徒のなかに発達させるように設計される。教室授業の道具として飛行機を利用することにより、地学・物理および生物が、飛行と航空に関係があるので、教えられる。プログラムは、正規の教室授業に加えて、実地教授、生徒訓練、長期間プロジェクト、および実際の飛行訓練を含む。最強調は視聴覚教材の使用におく。この科目は、連邦航空局 (F A A) 民間パイロット段階学校と同等価値をもつよう設計され、かつ、生徒に F A A 民間パイロット筆記試験を受験する準備をする。

☐「航空技術」 12 (必要条件、「航空技術Ⅰ」)

「航空技術Ⅰ」は「航空Ⅰ」から自然な発展と進歩であるように意図される。この科目は、飛

行や航空関係諸活動に一時の興味以上のものをもち、また将来航空科学を研究することを熱望する生徒たちのために設計される。それは生徒に、飛行乃至航空履歴分野に入る充実した基礎を用意し、上級の技術的指導を提供する。科目は以下の単元を含む。飛行の生理学 有視界飛行演習 飛行機具の基礎 空中の特性 ロケットの歴史 基本航空技術と航空科学 履歴指導 飛行シミュレーション 安全飛行

各生徒は一般練習機で最低6時間飛行する。この時間は有視界および計器飛行技術の勉強にそれぞれ2乃至4時間をあてられる。各生徒は航空分野に関する1つの大きな個別的学习プロジェクトを少なくとも完成するよう要求される。地方飛行場への数回の修学旅行が1回の夜間飛行を含んで熟考される。

☐「製図」 10、11、12

この科目の単元の多くは中学校の製図で学習されたものと似るけれど、より以上の製図領域が含まれて勉強が概してより難かしい。2乃至3枚の展望図製図、寸法、部分図製図、展開と交差、および絵であらわした製図がこのクラスで内容とされる若干の単元である。製図機械と平行定規が多くの製図をする場合に使われてよい。テストブックはSpencerとDygdonのBasic Technical Drawingである。1.50ドルの材料費がこの科目に請求される。

☐「住居建築製図」 10、11、12

このクラスは、もっとも普通型の家屋建造に適するので、建築家と建築職人の仕事の紹介である。各生徒は、1軒の家屋を設計して建てるのに必要な平面図、立面図、および詳細を製図する。これら製図の多くは青写真にとって複製されよう。透視画法製図や大きさの等しい平面プランのような絵であらわした製図が、要求されるクラス勉強を仕上げた生徒により作られてもよい。テキストブックはSpencerとDygdonのBasic Technical Drawingである。1.50ドルの材料費が請求される。

☐「電子工学Ⅰ」 10、11、12

「電子工学Ⅰ」は、教室授業でみっちりと研究される電気回路、直流、および交流の、実験室プログラムを提供する初歩電子工学における工業的履歴の概観である。強調は科学的方法、分析および論理的教育にある。実験は生徒に、かれが工業で発見するこれら電気テスト器具の使用における、幅広い経験を準備する。選ばれたプロジェクトは、仕事の道具に関係する電子工学分野の、語彙と学問上の原理を使う授業において、知識を実地訓練するように構成される。実験費が請求される。アプローチは生徒に電気・電子工学の一群の領域、そして次のような多くの履歴に方向づけることである。すなわち、航空機電子工学 器械修理 人工衛星通信 医療電子工学 コンピューター設計と修理 軍事電子工学 電気製図工 電気技師 工業電子工学 精練工業 音響工学 電話設計と修理

☐「電子工学Ⅱ」 11、12（必要条件、「電子工学Ⅰ」）

真空管とトランジスターを使う複雑な電気回路が学習される。メーター、電力供給、周波数発生機、およびオシロスコープが生徒使用の備備の大部分をなす。実験費が請求される。

☐「電子工学Ⅲ」 12（必要条件、「電子工学Ⅱ」）

「電子工学Ⅲ」生徒は、「電子工学Ⅰ」クラスが開かれている時間に時間割りされる。「電子工学Ⅲ」生徒は、自分の時間の約1/3を実験室実験中の「電子工学Ⅰ」生の助手に、約1/3を実験室備品の故障対処に、そして約1/3を個別学習に過ごすであろう。実験費がこの科目の個別学習分に使用された材料について請求される。

☐「機械木工」 10、11、12

機械木工のこの科目は、普通の手道具の使用、木工機械の維持、調整および操作、そして木工

機械を使う生産物の構造を含む。関係情報、たとえば（金物、木材の）材料費も内容にされる。このプロジェクトで生徒が使う材料の費用として 20 ドル近い料金がある。

□「金工」 10、11、12

「金工」は、生徒に各種金属加工分野を知らせる、技術プログラムにおける工業履歴の概観を提供する。いくつかの内容単元は、板金、アーク溶接、酸素アセチレン溶接、鍛冶工場仕事、鍛鉄、装飾用鉄仕事、パイプを曲げること、および形づくり、である。このクラスは生徒に工業で見出すこれら金工道具と機械の使用に幅広い訓練を与える。生徒は教室授業に関係がある有益なプロジェクトをつくる。入科のアプローチは、次の一般領域さらにより多くを含む金属の一群の領域における、履歴へと方向づけられる。技師 レイアウト人 道具や鋳型製作者 鍛冶仕事 機械オペレーター 溶接工 熱取扱専門家 機械技術者 鍛鉄労働者

◎「小型モーター」 11、12

生徒は 2 および 4 サイクル型の小ガソリンエンジンの故障を発見して修理し、分解し、点検し清掃し、修理し、組立て、そして走らせる機会を与える。普通の技術と一般の理論が強調される。

◎「動力分析」 11、12

生徒はエンジンを動かし、バッテリー、スターター、発電機、交流発電機、点火起動装置等の仕事をやりとげる機会を与えられる。重点は、エンジン理論のよりよい理解と、自動車の所有主としての生徒に適用できるエンジン問題の認識におかれる。生徒は自動車エンジンに、常時かんたんに点検すること、清掃、取り付け、分解することを学ぶ。故障を発見して修理することと保存が強調される。

学校奉仕補助員

毎年教室で良い成績を楽しんでいる多くの生徒が、自分の時間割の空き時間、すなわちもしそうしなければスタディ・ホールに割当てられる筈の時間に、各種の行為で学校に奉仕する。何かの方途で奉仕したい生徒はこの願いを登録カードに示すべきである。これらの地位に選ばれる生徒は、人々と一緒に働らく正直な願いにとりつかねばならず、学校への奉仕であり、共同的で勤勉で、信頼できる性質をもたねばならない。非科目クレジットがこれら責任の遂行に提供される。

図書館見習生 出席・書籍の出し入れチェック、棚上げ、その他図書館事務の助手。

出席事務見習生 出席簿の準備、使い走り、電話の助手。

事務室見習生 電話応答仕事、接待、使い走り、雑多な業務。

食堂生徒マネジャー 食堂の注意、中食時の食卓清掃、生徒の中食室移動の全般的助力の助手。

視聴覚援助 装置操作、加えるに雑多な他の仕事の視聴覚部の助手。女生徒の秘書機会に役立つ。

食堂販売 食堂の助手。牛乳等の販売で食堂マネジャーの助手。

皿洗い人 台所で手助けしようとする男生徒は毎日 2 中食期間皿洗いにより中食を稼ぐことができる。

ドルース・セントラル高等学校

卒業必要条件 ドルール公共学校からの卒業に必要条件是次のようである。

1. 国語 English 10、11、12 - 3 クレジット
2. 社会科 Social Studies 11、12 - 2 クレジット
3. 体育 Physical Education 10 - 無クレジット